

会 議 録

| | |
|--|--|
| 会議の名称 | 令和5年度清須市健康づくり推進協議会 |
| 開催日時 | 令和5年11月8日(水) 午後2時～午後3時30分 |
| 開催場所 | 新川福祉センター 2階集会室 |
| 議 題 | <p>1. あいさつ</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 協議</p> <p>(1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進</p> <p>(2) 清須市保健事業</p> <p>(3) その他</p> |
| 会議資料 | <p>会議次第</p> <p>令和5年度清須市健康づくり推進協議会名簿</p> <p>健康づくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料1-① 清須市の現状</p> <p style="padding-left: 2em;">② 健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ)</p> <p style="padding-left: 2em;">③ 実務者会議報告書</p> <p>資料2 清須市保健事業</p> <p>資料3 庁舎・保健センター再編事業</p> |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 傍聴人の数 | 0人 |
| 出席委員 | 加藤委員、近藤委員、宮田委員、向山委員、山内委員、佐橋委員、伊藤委員、入山委員、南委員、片山(岩)委員、栗木委員 |
| 欠席委員 | 時田委員、片山(敦)委員、小出委員 |
| 事務局 | <p>加藤健康福祉部長</p> <p>[健康推進課] 古川次長兼課長、高木課長補佐、鳥居母子保健係長、西村成人保健係長、三島健康増進係長、渡邊庶務係長</p> <p>[高齢福祉課] 加藤介護予防係長</p> |
| <p>会議の経過</p> <p>1. あいさつ</p> <p>●加藤福祉部長〈部長挨拶〉</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>●事務局：お手元の清須市健康づくり推進協議会委員名簿をご覧ください。この委員会は、15名で構成されております。今年度からの新たな委員は、女性の会の山内千代子様が前年度の委員に代わり、委員としてお引き受けいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="padding-left: 2em;">協議の前に、清須市健康づくり推進協議会の設置について、お手元の「清須市健康づくり推進協議会設置要綱」に沿って簡単にご説明いたします。</p> <p style="padding-left: 2em;">〈要綱に沿って説明〉</p> <p>●事務局：それでは次第2協議に入ります。議事進行につきましては昨年度に引き続き、加藤会長、議事進行をお願いいたします。</p> <p>●加藤会長〈会長挨拶〉</p> | |

3. 協議

〈資料に沿って説明〉

- (1) 健康日本2 1 清須計画（第2次）・清須市自殺対策計画の推進（資料1）
- (2) 清須市保健事業（資料2）
- (3) その他（庁舎・保健センター再編事業）（資料3）

- 加藤会長：ただいま事務局から説明がありましたが、この件について何かご質問、ご意見はありますでしょうか。私から1点ですけれども成人の5ページ目、ネットワーク・地域活動支援のところの食生活改善推進員養成講座ですが、これは今年だけの開催ですか。令和5年度の見込みのみですが。
- 事務局：2、3年に1回で実施しています。
- 加藤会長：特に定例のイベントではない、ということですか。
- 事務局：はい。
- 加藤会長：それでは、ご質問ご意見等よろしいでしょうか。入山様お願いします。
- 入山委員：出生率ですけれども、愛知県下で1位、2位ということで非常に喜ばしいことではありますが、清須市に産婦人科というのはなかったですか。
- 事務局：市内に現在、産婦人科はありません。
- 入山委員：そうですね。病院のことはよく分かりませんが、誘致するとかそのような計画はあるのでしょうか。非常に喜ばしいことで、これから高齢化が進んで人口がだんだん減ってくる傍ら、清須市は出生率が県内1位、2位ということで非常に結構な話ではありますが。いかがでしょうか。
- 事務局：誘致とかそういう話は現在ございませんが、医療機関様の方からそういったお話があれば聞いていきたいとは思っております。
- 加藤会長：そうですね。それはやはりちょっと問題で、市内に1つは産科というのがあった方が。西名古屋医師会は清須市と北名古屋市、豊山町の3つがまとまって構成されていますが、やはり清須市には産科がない。現在、クリニックや総合病院とかお世話になっているところで、もし手を挙げてこの地域でというのであれば、もう是非にと思っているんですけれども、なかなかタイミングが。私どもはウェルカムなんですけど、こちらから声をかけてというのはなかなか現状では簡単ではありませんので、公的な医療機関があればということなんですけれども。確かにご指摘いただいたところ、私もちょっと憂慮しているところです。
- 事務局：北名古屋市に産科が増えてきている状況で、医療機関様の方でいろいろリサーチされて建設をされているという風に認識しております。
- 加藤会長：その医療圏でおおよそこのくらいの人数というのと、思うべき立地条件ですね。立地条件良いように見えて清須市もかなり見込み需要というのは高く診療系調査をやっております。ただ実際に新しい医療機関がなかなかできない。規模に合うような立地が出てこないというような話を新しく開業したい先生からお話もあったんですが、うまくまとまらず誘致ができなかった。ただその中でも私は産婦人科の先生からお話をいただくことはなかったもので、タイミングだとは思いますが。それでは、他にありますか。
- 向山委員：清須の健康マイレージが資料の方に169件と載っているんですけれども、私も勉強不足で、家に妻のカードがあったんですが、これ良いものがあるなあと思っております。自分で自分の健康を保つという意味からこの検診を受けて自分で決めた健康目標に取り組むということですが、運用とか現在の感触、今後の伸びについて教えていただければと思います。
- 事務局：普及啓発のところのマイレージになるかと思えます。内容としましては、検診とかを受けていただいたら、自分の目標を決めてその日からカウントしていただいて、30ポイントたまったら健康推進課にお越しいただき、交換で

粗品とカードをお渡しするというものです。ラジオ体操とか健康習慣を決めていただいでやっていただければと思っております。感触としては、いろいろところで自己申請をしていただいで思っておりますが、すごい増えているというわけではなく、横ばいとなっております。登録店舗も市内の協力店舗をお願いしておりますが、こちらも横ばいとなっております。

- 向山委員：協力店舗で何かサービス、何パーセント引きとかはある？特定健診やった時はもらえますよね。それと同じような感じ？
- 事務局：同じような感じです。カードをお渡しする時に協力店舗の一覧とかお伝えもしております。
- 向山委員：特定健診の時とか、こういうものがあるよというような案内は何か来ていますか。
- 事務局：今はお渡ししておりませんが、健診の時にお渡しすることもできますので、今後はそれも含めて検討していきたいと思えます。
- 向山委員：ありがとうございます。
- 加藤会長：ほか、事務局への質問はありますか。
- 入山委員：せっかく資料を作っていただくなら、グラフもほぼ横ばいで変わらないので、もう少し見える数字とか見えるグラフにさせていただいた方が良いでしょう。あと、資料3も真っ黒で見えない部分があるので改めていただきたい。それから来年度の健康日本21の第三次計画見直しに応じた新しい指標か何かなされているのかなということと、高齢者の保健事業と介護予防事業が一体化になると思えますが、国の施策でこの辺りはどのように織り込まれているのかなと思うのですが、どうでしょうか。
- 事務局：いろいろと資料のご指摘ありがとうございます。見にくい資料は改めてお渡しいたします。来年度始まる計画の指標についてですが、今年度、策定されている健康日本21のあいち計画や、国や県の指標を参考にさせていただいて、来年度、清須市の第三次清須市健康日本21計画を策定する予定としております。あと、一体化につきましては、現在、保険年金課、高齢福祉課、健康推進課の3課で検討しております、来年度開始できるように準備をしている状況です。
- 入山委員：分かりました。
- 加藤会長：第三次計画も愛知県の方は出てきて、概ね第二次を踏襲するような形と聞いております。私自身、呼吸器内科ですので、それで一つ思ったのは、清須市もやっていただきましたCOPDのことです。そのCOPDについてまずその認知度を上げようという計画だったんですが、今度は一歩進んで死亡率を下げるということが初めて出てくるので、その辺を含めて議論していくということも一つあると思えます。

では、これから健康づくり推進協議会の質疑応答に移りたいと思うんですが、委員の皆様は様々な活動をされている方も多くお見えになると思えますが、この5月でコロナウイルス感染症が5類に変更になったということで、コロナの感染自体がそう変わるわけではないですが、少しずつ活動としては元に戻りつつあって街も賑わってきているように思えます。この計画の冊子の9ページ「めざせ！こころもからだも元気なまち清須」の重点ポイントにある「人とつながろう」や、冊子後ろの方にある「清須市自殺対策計画」の12ページには「声を掛け合い、孤立させない地域のつながり」があります。コロナ禍の最初の方は人と人とが繋がることを分断されたように感じておりました。そこからの回帰ということ議論の中心として皆様の意見を伺いたいと思えます。まず薬剤師会の宮田様からお願いします。コロナが5類に変更になって、感染症が流行って薬がないという状況で日々お忙しいと思えますが、その日々思うことはありますか。
- 宮田委員：今ご指摘いただいたように、薬が非常に困難を極めておまして、その理

由はいろいろありますが、ジェネリックメーカーの不祥事によって営業停止になっている大手メーカーがありまして、それによっても全体がなくなってしまっています。それに加え、コロナ関係もあります。今年は特にインフルエンザ関係があり、夏から急激にというのは今まであまりなかったことですが、全国的にすごく流行っておりまして。あとコロナが流行った当初のころは、皆さん医療機関に行くのが怖いという感じで受診を控えた方も結構いましたが、最近は逆に少しでも不安だったら医療機関にかかれる方が増えているということもあると思います。医療機関にかかれて薬を処方されて、それで本当に薬不足で非常に困っていると思います。特に咳止め関係とか去痰関係とかが本当に入手困難で、処方された先生にいろいろお願いして、今は何がどれだけあるかとか何人分しかない、というようにお願いしているところ。あと、実際には薬が必要ない方もお見えになるという背景もあります。薬を飲んでも、鎮咳剤とかは一時的なもので、元から治すものではないですから、それに対して大量に薬を処方して飲んでいただくという風潮があるので、皆さんの理解を得られたらと思っております。ちょっと話が変わりますけど、部分別部位別がん死亡率が男性の方が気管、気管支及び肺が極端に多いのは、年配の方の昔のタバコですよ、たぶん。

- 加藤会長：ご指摘いただきましたように、一番伸びてしまっているのは肺がんです。気管、気管支もそうですが。一つ要因としては、日本は胃がんが多かったんですが、ピロリ菌は除菌ができて、ある程度早期発見、早期治療ができるようになり伸びが一段落しましたが、肺がんは以前より増えている。ご指摘いただいたタバコもありますけど、実はタバコや喫煙と関係のない肺腺がんというタイプが一番増えている。原因がタバコの影響だけか、大気汚染だったり生活環境だったりとか言われていますが、実はよく分かっていない。しかし、肺がんが多い。あと男性だったら前立腺がん、女性だったら圧倒的に乳がん、婦人がん。やはり今後、検診は非常に大事になってくるだろうと思っております。
- 宮田委員：昔に比べて徐々に禁煙の風潮がある？
- 加藤会長：増えてきていることは間違いないと思いますが、まだできることはあると思っております。
- 宮田委員：男女差は少なくなってきていると。
- 加藤会長：期待したいです。
- 宮田委員：あとCOPDも基本的にはタバコが原因ですので、今後一層禁煙活動を進めていくといいのかなと思います。
- 近藤副会長：タバコの話が出ましたけれども、電子タバコはどう思います？禁煙学会で絶対ダメだって言うんです。ニコチンないけど、結局何か燃やしてまして、アルデヒドとか吸い込むんです。そっちの方が危ない。禁煙学会から電子タバコやっちゃうと辞められないという話を聞きます。紙巻きタバコよりも断然辞められないです。そっちの方が良くないと僕らも歯科医師会から言われてまして。これが普及して禁煙するように、ということをおっしゃっていただけますけれども、先ほど肺炎が増えていると言われてはいますが、副流煙とかも要因としてあるのではないかと聞いておりますし、僕もそう思っています。
- 加藤会長：ご指摘のとおり、加熱式タバコの害は普通の紙巻きタバコと変わりません。部屋で燃やした時のPM2.5を測ったデータがありますが、皆が吸い出すと加熱式タバコであったとしても、紙巻きタバコを吸っているのとほとんど変わりません。家では紙巻きタバコ、外では加熱式タバコのように併用しているのが一番ダメで、一番肺がんになる率が高い。基本的には加熱式タバコは全く禁煙の解決になっていない。
では、次お願いしたいと思います。事業者代表の土屋様、事業所で感染対策などいろいろ大変なこともあったと思います。皆さんマスクしていた時期

もあつたかと思いますが、少しずつ環境も変わって今どのような感じなのか、ご意見をいただきたいと思ひます。

- 土屋委員：私の会社では、5類に変わりましたが、会社の中ではマスクの着用と消毒の方は今までと同じ形で行っております。営業の者は医療機関様の方にご訪問させていただく機会も多いですので、お互いに迷惑にならないように対策は継続して行っています。やはり、ちょっとマスクを外したりしたい方も中にはいらっしゃるけれども、社内ではちゃんとするように徹底して行っています。
- 加藤会長：ありがとうございます。それでは女性の会代表の山内様いかがでしょうか。この数年の変化ですね。コロナの位置づけが変わり少しずつ戻ってきたとのことですが、女性の会としても繋がりとか、変化はどうですか。
- 山内委員：女性の会は今年度から県の事業を抜けて、清須市の女性の会独自で事業を決めることになりましたが、何をやるかと言った時にやはり健康に着目をしていこうということで、重点ポイントとすごく似ていますけれども、体も心も健康に脳トレエクササイズ教室というのを市の事業としてやっています、9月から11月にひと月に3回、新川、西枇杷島、清洲と3会場でインストラクターの先生を呼んで行っています。
- 加藤会長：市民代表の片山様、体を動かすスポーツを皆さん募っているいろいろな活動されておりましたけれども、一時はコロナ禍で全部ストップしてしまうような状況だったと思いますが、近況はいかがでしょう。
- 片山委員：今、加藤先生がおっしゃったとおり、コロナ以前にはまだ戻っていません。やっと各地区、4地区ありますが、そこで体育祭などをやれるようになったんですが、皆さん規模を小さくするかそういう努力をして接触をなるべくなくすという努力をしております。ただ、一番の問題はこの2年何もやっていなかったということです。各地区の方、担当の方の引き継ぎがなされていないんです。それで体育祭をやるとかそういうこともなかなか実際分かっていないから、スポーツ推進委員が中心になって盛り上げようとしています、そこがちょっと難しいなというところです。それでもなんとか体育祭も各地区いろんな方法で実施することができて、やって良かったというアンケート結果が聞けますので、来年度からはなんとか元に戻って一日やれるようにできたらいいな、と思っています。
- 加藤会長：過渡期という感じでしょうか。少しずつ元に戻っていくといいなと思ひます。では母子保健推進員代表の南様、子育てとか子どもの健康のサポートを中心に活躍いただいておりますけれども、コロナ後の近況はどうですか。子育てをしている親御さんや子どもたちの変化、今いかに感じられますか。
- 南委員：市からいただいた資料の配付をもって訪問を4地区で各母子保健推進員が分担をしているわけですが、生後2、3か月の間に訪問するんですが、やはりコロナ禍では一時中止になってポスティングだけをしたりということで活動していました。そのような中から一件一件電話をかけてお話するんですが、電話を受けない人たちに突撃訪問したりとか。子育てのいろいろな情報がある中で不安を抱えていらっしゃるお母さんも多いと思ひます。私自身も子どもがいますけど、やはり世代が違うとなかなか親もアドバイスができない。お母さんたちが求める場所ですぐできることがあれば、市役所とコンタクトとりながら、改善されていったらいいな、と思っています。
- 加藤会長：この前見かけたのが、子どもたちがクリニックの外で集まっているのに、スマホ、LINEで会話していると、こんな時代になってしまったのは仕方がないような寂しい気がしました。コロナの前後ということではないですけど、世代が違うということで言えば私も古い人間かもしれませんが、公園でみんなで元気に走り回って缶蹴りなんかをしてもらった方が嬉しいなと思ひます。貴重なご意見ありがとうございます。

食生活改善推進員の伊藤様、コロナ前後で皆さんにも同じようなテーマで聞いておりますが、いわゆる集まる会が中止になったのも少しずつ元に戻ってきていると思いますが、活動の制限を受けたりとかそういうこともあまりなくなって、主に食べるということですから、どうしてもそのイベントに対してご苦労されている部分があるかもしれないなと思います。

- 伊藤委員：作って食べる、ということができているような気がします。今までは作るだけでお持ち帰りでしたけれど、ちょっと黙食っぽくしてありますが、作ったものを皆さんと一緒にできるだけ一緒に食べられるということはずごく楽しいことで、皆さん喜んで活動しています。だから出前講座なんかにしても、市民の方がすごく嬉しそうな賑やかな感じに少しずつ戻りつつあります。
- 加藤会長：ありがとうございます。では商工会代表の佐橋様、同じテーマでまたお願いしたいと思いますが、アフターコロナということで、大変な局面もあったと思いますが、今はだいぶ元に戻ってきたような感じですか。
- 佐橋委員：いろいろイベントも元に戻りつつあります。11月11日に信長まつりと産業まつりと。また5時半からイルミネーションもあります。まつりとかイルミネーションとか朝から晩までイベントがありますが、これも先ほどから言われているようにコロナが5類に移行したからできることだと思いますけど、今のところそういうおまつりとかイベントを通じてまん延したとかそういう話は聞いていません。一時、5類に移行した当初増えたみたいですが、また今は落ち着いています。コロナのことはそうですけど、先ほどから先生方タバコは悪い悪いと言っていました、私もタバコを止めました。
- 加藤会長：高齢者代表の向山様、寿会の活動などの近況はどうでしょうか。
- 向山委員：結構今まで溜まっていたものの発散という意味かどうかですけど、日帰り旅行とかバス旅行とか各地でたくさんあって、いよいよ始まってきたなという雰囲気地域の中にあつた。それからシルバー人材センターの方では、コロナの時は説明会をやってもずっと募集がほとんどゼロだったんですが、この最近では4か月の間は説明会をやると毎月6、7名の方が興味を持って来ていただいて、入会数も徐々に増えていっている。増えている年代は大体70代というような状況です。最後になりますけれども、高齢者として一番気になるのは寒暖の差が非常に大きいので、気をつけないといかんというのが課題と思っています。
- 加藤会長：ありがとうございます。入山様、健康づくりリーダーとして一言お願いします。
- 入山委員：今年の3月まで北名古屋市と豊山町と清須市の2市1町の団体に構成する清須支部の健康づくりリーダーとして、今のところは3か所で高齢者の運動をやっておりますけれども、ますます高齢化が進んでなかなか会場まで来ることが難しくなっているような状況という風に思っております。
- 加藤会長：ありがとうございます。近藤副会長、何か一言お願いします。
- 近藤副会長：歯医者っていうのは、歯を削って治してという雰囲気があるかもしれないですけど、いろいろなところで顔を出して横の連携を取っています。8020運動の表彰者を今年出しました。豊山町、清須市、北名古屋市全部で191件出しています。どこの地区も結構出していて、それで表彰をしています。80歳で20本、それは喜ばしいことですけど、実は昨日あま市の保健の方から電話がありまして、そこで8020運動の話が出たんですが、清須市ではやっていないという話で、逆にあま市さんはやっているんですか、と聞いたらやっています、と。市でもやっているし、歯科医師会でもやっている、どこでもやっていることだよと逆に言われました。清須市さんもそこら辺をちょっと考えて欲しい、と思います。今、歯科医師会は、健診ばかりやっています。いわゆる地域の格差を調べるために検診票を作り直していて、3月に検診を統一するためのものが出たんですけど、そればかりやって

います。なぜかと言うと、これから高齢化するというところで、ビッグデータを集めなければいけないってことで、まず統一を図らなければいけないから検診の説明を今やっていて、2026年からいわゆるデンタルヘルスレコードっていうんですかね。今やっているいわゆる愛知デジタルコンソーシアムってのがあって、産業界と官とあと学、学は大府の長寿医療センターがやっている。昔愛知オレンジタウン構想というのがあって、今も三次、四次ですかね、それがあって、そこで説明したのがこのコンソーシアムっていわゆるデジタルが入ってくる。AIも入ってきてそれで産業と一緒にまちづくりをしようということで、私たち歯科医師会もそこにデジタルデータを入れるということで検診の統一化を今やっています。まだまだこれからです。それでいわゆる歯科の検診、歯周病の検診と糖尿病とかいわゆる脳血管障害とかの関連性を調べて、そういうデータを特化してより良い医療を提供しようという働きを今やっている最中です。今また2025年問題があって、75歳以上がすごく増えるらしいんです。そうすると医療として切迫してしまうんじゃないかということで、僕ら一次医療機関ですけど、二次医療、三次医療にどのように繋げていくかが今気になっている。あいち医療計画がまた見直されるということで今ちょっと紛糾していて、それに向けて今やっているという状態で結構忙しいです。

●加藤会長：清須保健所の栗木様、お願いします。

●栗木委員：いろいろなことを聞かせていただいてありがとうございます。コロナが3年に渡ったんですけれども、皆さん不自由な生活というか、いろいろしていただいて、そのおかげか最初の頃と最後の頃って全然コロナが違うものになったような感じがします。ワクチンができたっていうのは大きいことですし、ワクチンに対しては、市の方に大変お世話になっているということもありました。それから感染者とか死亡者が少なかったのはやっぱり日本人の気質じゃないかみたいなものもありましたし、皆さんもすごく自粛をされたのかなという風に思います。先ほどから出ておりますように復活させるのが大変苦勞するという話もありますが、保健所の方もコロナのことばかりやっているのも通常やらなければいけなかったことがあまりやれていない部分があります。例えば、難病の人たちの訪問ですとかやっていないことがあってそれを復活させようとする担当者も何もやらなかったのが継続できなかったということがあります。それから、いろいろな行事を復活させるのは苦勞なんですけど、確かにアンケートで聞くとやって良かったというのが多いのも本当なので、皆様努力していただきつつ、そういう世界へ戻っていくのかなと思っています。それから健康づくりの計画につきましては県も今作ってまして、今回、国も県も基本的には前のものを踏襲する形になっていて、誰ひとり取り残さない健康づくりみたいなのを目指しているということだと思いますので、また皆さんで盛り上げていただくようお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

●加藤会長：ありがとうございます。それではこのあたりで協議を打ち切らせていただきます。皆様方の御協力によりまして、会議を円滑に進めることができました。ありがとうございます。マイクを事務局にお返しします。

●事務局：加藤会長、近藤副会長どうもありがとうございました。また、委員の皆様大変貴重なご意見、ご要望ありがとうございました。産婦人科のことや8020の表彰のお話をいただきましたがまた持ち帰って勉強していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。資料につきましても、わかりやすい資料作りに努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。今日はありがとうございました。

委員の皆さんの任期が2年ということで、今年度は本日の会議で終了となりますが、引き続き来年度もご依頼させていただきたいと思っておりますので、よろ

しくお願いいたします。来年度の健康づくり推進協議会は、健康日本21清須計画及び清須市自殺対策計画の評価及び次期計画の策定の年となっております。委員の皆様のご協力をいただきながら策定をしていくため、年4回程度の会議を予定しておりますので、御協力よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。以上で健康づくり推進協議会を閉会いたします。

閉会：午後3時30分

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 会議の結果 | 会議の経過に示したとおり |
| 問い合わせ先 | 健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2117 |

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年12月14日

署名委員 伊藤 千里

令和5年12月14日

署名委員 入山 八三郎